

都田川フィールドシンポジウム

～流域の生物多様性と市民参加による保全活動～

開催日程

平成23年11月25日(金)～11月26日(土)

- 1日目 9:00～17:00 「都田川フィールドツアー」
場所: 都田川流域(浜名湖から小川まで)
- 2日目 9:30～12:30 「シンポジウム」
会場: 浜松市地域情報センター ホール

フィールドツアー行程

9:00 JR浜松駅北口集合
佐鳴湖(浜名湖の支湖)
都田川河川改修区間
井伊谷川河川改修区間
希少種生息地
田んぼビオトープ
17:00 JR浜松駅到着・解散
終了後 懇親会
(場所、時間等は当日お知らせします)

シンポジウムプログラム

趣旨説明 (9:30～9:35)
講演 (9:35～11:15)
1. イシガメの繁栄を支える河川の構造
山田辰美(富士常葉大学 教授)
2. 流路変更と多自然型川づくり(予定)
静岡県(予定)
3. 市民参加による生物多様性保全のための環境再生
関川文俊(富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員)
4. 浜名湖の環境と生物
後藤裕康(静岡県環境衛生科学研究所)

《休憩》
総合討論(11:30～12:30)
終了

XX

	定員	参加費
フィールドツアー	40名	3000円※
シンポジウム	130名	無料

※ 昼食の弁当代を含む

○申込み詳細は裏面をご覧ください。
○定員になり次第受付を締め切らせていただきます。
○シンポジウムプログラム、フィールドツアー行程は現在調整中につき、お断りなしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

【開催趣旨】

静岡県の最西部に位置する河川“都田川”は、県内で最も豊かな生物相を誇っている。希少種の分布の多いこの川で県内では近代以降最大で最後の瀬替え（流路変更）が実施された。ここでも多自然川づくりが叫ばれ、旧水路の一部を残すという英断が下された。また、昨年まで河川審議会が催され、優れた河川環境を如何にして残すか、河川整備基本方針が検討されたばかりである。（ちなみに、静岡県においては昨年8月に希少野生動植物保護条例を策定し、現在、指定種等の選択作業に入ったところである。）

自然環境や野生生物に配慮された川作りを目指す多くの皆さんの注目を集め、市民参加の保全活動なども展開している河川である。この川の未来に向けて、私たちはどんな提案ができるだろうか。

■ 申込先

参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申込みください。

■ FAX : 0545-37-2081

■ 電子メール : sekigawa@fuji-tokoha-u.ac.jp

■ 問い合わせ先

■ 〒417-0801 静岡県富士市大淵325
富士常葉大学附属環境防災研究所

■ TEL : 0545-37-2080

■ FAX : 0545-37-2081

■ 電子メール : sekigawa@fuji-tokoha-u.ac.jp



都田川フィールドシンポジウム 参加申込書(FAX用)

都田川フィールドシンポジウム事務局

フリガナ			
氏名			
所属			
連絡先	〒 -		
TEL			
FAX			
E-mail			
参加希望 行事に○ をお付け ください	フィールドツアー	11月25日(金)	
	懇親会 ※会費は当日に別途徴収します。	11月25日(金)	
	シンポジウム	11月26日(土)	

※お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営管理のみに使用します。